

児童手当申告書

所属  
受付印

総務課  
受付印

申告者 処理区分 認定権者区分 職員番号 申告区分

受付年月日 認定年月日 申告理由

支給事由消滅年月日 消滅事由 支払希望金融機関(申告者名義の普通口座に限る) 支給開始月 改定理由 算定児童数 手当月額

支給要件児童等 カイド区分 氏名(漢字) 氏名(カナ) 性別 続柄 生年月日 同居区分 監護区分 生計区分 非該当事由発生年月日 非該当事由 該当年月 非該当年月 別居の場合の住所及び理由

ナ 児童の主たる養育者の判定 新規申告の場合、4項目のうち該当項目にチェック

二 所得の状況 カイド区分 年度 所得額 扶養家族数 うち老人養族 譲渡所得の有無 障害者数 寡婦・ひとり親 控除 雑損控除額 医療費控除額 小規模企業共済等掛金控除額 障害者控除額 寡婦・ひとり親 勤労学生控除額

申告区分コード 記入箇所 添付書類

控除 政令第3条第1項による額 控除合計額

上記のとおり、申告します。 年 月 日 申告者 住所 職・氏名 上記の記載事項は事実と相違ないものと認めます。 年 月 日 所在地 所属 所属長 職名 電話番号 氏名

※添付書類の詳細は「児童手当申告事由別支給の始期等及び必要書類」「児童手当提出書類チェックシート」を参照してください。 ※裏面の《記入上の注意及びコード表》を参照のうえ記入してください。

(裏面)

《記入上の注意及びコード表》

申告理由により記入例を参照してください。

第1子出生の場合	新規 (記入例1)
派遣期間中は県以外から児童手当を受給していたが、県に復帰する場合	新規 (記入例2)
その他の場合	新規 (記入例3)
第2子以降出生の場合	額改定 (記入例4)
離婚等により児童を養育しなくなった場合	消滅 (記入例5)
金融機関を変更する場合	変更 (記入例6)

申告区分に応じて必要箇所を記入してください。

申告者欄

ア 認定権者区分 (全員記入)  
 イ 職員番号 (全員記入)  
 ウ 申告区分 (全員記入)

申告理由 (全員記入)

「第1(2・3)子が生まれたため」  
 「児童手当の支給要件に該当するため」  
 「離婚したため」等、詳しく記入してください。

キ 支給事由消滅年月日 (消滅の人のみ記入)  
 消滅事由の発生した年月日を記入してください。  
 年号はコード表の該当する番号を記入し、年・月・日の数字が1桁の場合  
 右に寄せて、記入余りの桁に「0」を記入してください。  
 消滅事由  
 支給事由消滅事由コードの該当する番号を記入してください。

ク 支払希望金融機関 (新規の人のみ記入)  
 名称・支店名・口座番号(右に寄せて記入し、記入余りの桁は「0」記入)  
 を記入してください。  
支払希望金融機関は、申告者名義の口座としてください。(配偶者・児童等の口座は不可)

ケ 改定事由 (額改定の人のみ記入)  
 改定事由コードの該当する番号を記入してください。

支給要件児童欄

申告者が、養育(監護し、かつ生計を同じくするか又は生計を維持すること  
 をいいます。)する支給要件児童のうち、「ウ 申告区分」により、次のとおり  
 該当する児童を記入してください。

ウ 申告区分	記入を要する支給要件児童
1	すべての支給要件児童
2	支給要件児童のうち異動があり、その結果、児童手当の額が増額又は減額した場合に、その原因となる支給要件児童。
3	なし
4	変更が生じた支給要件児童

サ 区分  
 支給要件児童区分コードの該当する番号を記入してください。

氏名  
 漢字は楷書で、カナは左に寄せて正確に記入し、字配りについては記入例を  
 参照してください。

シ 性別  
 性別コードの該当する番号を記入してください。  
 続柄  
 続柄コードの該当する番号を記入してください。

ス 同居区分・監護区分・生計区分  
 該当する区分に○をしてください。

セ 非該当事由発生日(申告区分4で非該当となる児童がいるときのみ記入)  
 非該当事由の発生した年月日を記入してください。  
 非該当事由  
 非該当事由コードの該当する番号を記入してください。

認定権者コード	
1	知事
2	教育委員会教育長
3	警察本部長

申告区分	
1	新規認定請求書
2	額改定請求書
3	受給事由消滅届
4	変更届

ソ 別居の場合の住所及び理由  
 別居の場合の住所及び理由を記入してください。  
 別居の場合の理由 2 海外留学・3 その他 の場合は申立書を提出してください。

ナ 新規申告の場合、該当項目をチェック  
 申告者及びその配偶者ともに所得があり、監護要件を満たす場合、いずれか児童の生計を維持する程度  
 の高い者を主たる養育者とみなし認定します。  
 該当項目にチェックしてください。チェック項目の無い職員は主たる養育者として認められません。

ニ 所得の状況欄 (新規認定の場合記入)  
 申告者の前年(1月から5月までの月分の児童手当については、前々年をいいます)の所得について、  
市町村発行の所得証明書をもとに記入してください。

扶養親族数は、控除対象配偶者及び扶養親族数の合計数を、また、このうち老人控除対象配偶者及び老人  
 扶養親族の合計数を記入してください。  
 その後増えていても、所得証明書のとおり的人数を記入してください。

譲渡所得の有無は、有：1 無：2 ですので、誤りのないようにしてください。

障害者数、寡婦・ひとり親・勤労の別については、該当すればその人数を、無ければ「0」を記入してくだ  
 さい。

コード表

支給要件児童区分コード	
第一子	1
第二子	2
第三子以降	3

続柄コード	
長男・長女	11
二男・二女	12
三男・三女	13
四男・四女	14
五男・五女	15

性別コード	
男	M
女	W

年号コード	
平成	4
令和	5

同居別居コード	
同居	1
別居	2

監護区分コード	
有	1
無	2

譲渡所得コード	
有	1
無	2

受給者の消滅事由コード (キ)	
受給者本人	
他の官公庁へ転出した	31
公務員でなくなった	32
所得要件に該当しなくなった	33
死亡した	34
支給要件児童	
死亡した	44
監護しなくなった	45
生計を同じくしなくなった	46
生計を維持しなくなった	47
中学校を修了した	48
その他	49

受給者の改定事由コード (ケ)	
改定請求(増額)	
出生	11
その他	12
改定届(減額)	
死亡した	24
監護しなくなった	25
生計を同じくしなくなった	26
生計を維持しなくなった	27
中学校を修了した	28
その他	29

児童非該当事由コード (セ)	
死亡した	54
監護しなくなった	55
生計を同じくしなくなった	56
生計を維持しなくなった	57
中学校を修了した	58
その他	59

氏名記入例  
(漢字)

黒	潮	太	郎		
紀	伊	豊			
桜		咲	子		
竜	門	山	か	お	る

(カナ)

ク	ロ	シ	オ	タ	ロ	ウ				
キ	イ	ユ	タ	カ						
サ	ク	ラ	サ	キ	コ					
リ	ユ	ウ	モ	ン	サ	ン	カ	オ	ル	